

# 伊賀市議会だより

No.80  
2025.2.1

## 行ってみよう 聞いてみよう!

### <主な掲載内容>

12月定例会月会議	P 2
市政を問う 一般質問	P 6
「病院・医療等のあり方特別委員会」始動	
「議会活性化推進会議」発足	P12
活動報告 所管事務調査	P13
令和6年度政務活動費の報告	P14
インタビュー 人と地域がつながってイキイキ活動紹介	P16



久米住民自治協議会のみなさん



## 12月定例会会議

11月29日～12月20日（会議期間22日間）  
補正予算や条例の改正などを含む62議案を審議

### 一人ひとりが輝く伊賀市奨学金支給条例の制定

賛成多数で

可決

経済的理由により修学が困難な学生に対し、より幅広い支援を行うため、これまでの「伊賀市奨学金」及び「伊賀市同和奨学金」の2つの給付型奨学金制度を廃止し、新たに高等学校、大学等の進学を対象とした給付型奨学金制度「一人ひとりが輝く伊賀市奨学金」を創設します。

質疑（教育民生常任委員会 12月12日）

**問** 奨学金制度については、皆が等しく学ぶことができるようにという趣旨と考えるが、その申請に際し、作文というハードルを課すことはどうか。

**答** 国の制度等でも修学に対する様々な支援がある中、伊賀市の奨学金制度を活用いただく際には、その趣旨をご理解いただきたいと考えています。作文の内容の善し悪しについての審査はしません。

討論（本会議 12月20日）

**反対** 制度の検討にPTAや教職員等の教育関係者を含めなかったこと、経済的な理由以外に奨学金の趣旨を子どもや保護者に読ませ、作文を書かせることを支給要件とすることで、申請のハードルが上がると考えられること、奨学金の目的において伊賀市に貢献することを求めているが伊賀市に限定する必要はないと考えること。  
以上3つの理由から反対とする。

### 伊賀市営住宅管理条例の一部改正

全員賛成で

可決

市営住宅の入居要件として、これまで連帯保証人2人が必要でしたが、連帯保証人制度を廃止し、緊急連絡先を記載することで入居可能になるよう条例を改正します。

質疑（産業建設常任委員会 12月11日）

**問** 条例を改正し、連帯保証人を入居要件から無くすことによるリスク対応は。

**答** ①収納率の低下・滞納リスクについては督促状や催告書を送付し、滞納の長期化を防ぐということ、また、長期滞納者に対しては、明渡し等を厳格に求めることを考えています。②急病や隣人トラブル等における緊急時対応についても緊急連絡先に連絡し対応を依頼します。③入居者の死亡等による退去時における各種対応について、緊急連絡先が親族の場合は、退去手続や家財処分等を依頼、知人・友人である場合は協力を依頼し、必要により相続名義人の調査を行います。

**問** 入居を決定する際には、緊急連絡先に連絡の上での契約になるのか。

**答** 緊急連絡先の方の住民票を添付して申請していただくこととなります。

**問** 住宅使用料の滞納者の件数は。

**答** 令和5年度で1か月以上の滞納件数は、延べ474件、収入未済額は、現年度分が約950万円、過年度分が約1億4,700万円であるが、滞納件数、収入未済額ともに確実に年々減少してきています。

**問** 市全体の市営住宅の更新、整理を決断すべき時期が来ていると思うが見解は。

**答** 市営住宅の長寿命化計画で、住宅別に方針を定めており、より新しい住宅に移っていただくための訪問を行っています。公共施設最適化計画においても、公営住宅49%減、改良住宅8%減という総量目標があることから、今後、集約や建て替え等、必要に応じて精査していきます。

討論（産業建設常任委員会 12月11日）

**賛成** 今後、本条例をしっかりと精査し、住宅使用料の回収が進むような条例にさせていただくことを強く希望します。

## 財産の無償貸付け(旧玉滝小学校)

全員賛成で

可決

旧玉滝小学校の土地、建物等が「伊賀市の適正な土地利用に関する条例」に基づく「特定開発事業」として認定されたことから、株式会社ウイルステージに無償で貸し付けようとするものです。

質疑(総務常任委員会 12月13日)

問 事業計画に対し、地域からの反対意見は。

答 特定開発行為の地域判断として、特に反対意見は無いということで話をいただいています。

問 契約相手方の管理下で発生した事故等について、周辺環境への影響は考えられるか。

答 ほぼ排水は出ないと考えています。また大量のガスの発生は考えられず、心配ないと事業者を確認しています。

問 会社の方針が変わったら、10年間の間でも事業をやめられるのか。

答 会社に対し事業の継続を強制することは出来ないと考えます。

問 中途解約で建物等が市に戻る場合の取り扱いは。

答 事業者の設置物については撤去、修繕等に要した費用など有益費は放棄となります。

問 隣接するたまたき保育所の送迎に影響はないか。

答 事業者には送迎時間帯を避けるよう申し入れしています。



▲旧玉滝小学校 航空写真

校舎	鉄筋コンクリート造	3階建	2,597㎡
体育館	鉄筋コンクリート造	2階建	1,053㎡

## 指定管理者の指定(地区市民センター:更新8地区、新規8地区)

全員賛成で

可決

令和6年度末で指定管理者の指定の期間が満了する8施設及び令和7年度から新たに指定管理制度を導入する8施設に係る指定管理者を指定します。

質疑(総務常任委員会 12月13日)

問 今回で新規を含め何地区が指定管理の対象となったのか。

答 現在38の地区市民センターのうち、令和4年から6年の間に13地区、令和7年度に8地区の増加を含め、21地区が指定管理の対象となる見込みです。

問 指定管理を受ける際、区長の合意や総会の議決はどうなっているのか。

答 手続き上、住民自治協議会等の総会議決まで要件として求めています。

問 住民自治協議会の会計と地区市民センターの会計を担当することで、取り扱う金額が多くなるが、事故防止の考えは。

答 会計の実態も把握して、通帳と印鑑の別管理を、という助言や支払いなどでチェック機能が働く仕組みづくりをお願いしています。年間を通じて、中間又は期末のヒアリングなどで領収書、通帳確認も行っています。

### ◎指定管理者制度実施手順

4月 指定管理者意向調査(市→住民自治協議会)→回答期限 6月中旬頃

7月 指定管理業務仕様書等の提示(市→住民自治協議会)、指定申請書作成(住民自治協議会)  
→8月初旬提出期限

12月 議会 指定議案審議

2月 指定管理者への事務引継ぎ

3月 協定書締結

## 指定管理者の指定 (いがまちスポーツセンター)

賛成多数で

可決

令和6年度末で指定管理者の指定の期間が満了するいがまちスポーツセンターに係る指定管理者を指定します。

質疑 (総務常任委員会 12月13日)

問 今まで地元が管理されていたと思うが、これからスポーツ施設は一体管理の方向へ進むのか。

答 非公募という条件が変わって、地域への貢献力を反映する項目が外れました。今後、一団体に指定管理させるか議論は必要だが、すべての施設を一体とするか見つめなおす必要があります。

委員長報告に対する質疑 (本会議 12月20日)

問 委員会でモニタリング評価、選定委員会のありようについての質問はあったか。

答 そのような質問はありませんでした。

討論 (本会議 12月20日)

反対 今回、審議対象の「いがまちスポーツセンター」は、現在、指定管理を行っている事業者に対するモニタリングでは、市はすべての項目において100点満点の最高評価をしている。また、「施設の老朽化の中、利用客への安全面を最優先にし、適切な管理・運営を行っている。経費削減や収支状況の改善等に継続的に取り組んでいる。」との総括文までついている。この度、「非公募」から「公募」となり地域への貢献などの選定基準がなくなるなど現在の指定管理者の実績は考慮されないことになった。とはいえ市の選定委員会の評価のあり方、さらには議会はどうか判断したのかという点で疑問は残る。「議案補充説明調書」には「期待される効果」として「体育施設を統一的に管理してきた経験・実績に加え、文化芸術振興などとトータル管理を実施してきた経験と実績」という表現がある。仮に「小さい組織よりも大きい組織、やる気をもって取り組みを工夫し、地域と良い関係性を保っていることは、期待される効果に値しない。」という判断が働いた結果であるならば、今後の指定管理の問題点として指摘し、この議案に反対したいと考える。

## 令和6年度一般会計補正予算 (第6号)

16億694万1千円の増

全員賛成で

可決

人事院勧告に準拠した給与改定による職員人件費、道路施設修繕及び直轄管理河川改修に係る経費、小学校施設の改修に係る経費などの所要額の補正。

### 【歳出の主なもの】

○職員人件費	6億9,263万7千円
○地区市民センター維持管理経費	1,032万9千円
○忍者市プロジェクト事業	2,024万4千円
○臨時地方道整備事業 (市道岡崎山中線法面修繕工事等)	2,594万5千円
○直轄管理河川改修事業 (大戸川小田排水機場改修工事)	4,885万7千円
○施設改修事業 (島ヶ原小学校空調機修繕工事等)	433万4千円
○体育施設維持管理費 (上野運動公園加圧給水ポンプ更新工事等)	616万7千円

## 令和6年度一般会計補正予算 (第7号)

3億920万8千円の増

全員賛成で

可決

令和6年度における個人住民税非課税世帯に対し、給付金を支給 (1世帯あたり3万円、また、世帯員である18歳以下の児童に対し、1人あたり2万円を加算する) などの所要額の補正。

### 【歳出の主なもの】

○住民税非課税世帯等物価高騰支援給付事業 (追加分)	2億9,260万5千円
○物価高騰支援給付金事業 (こども加算追加分)	1,600万円

# 審議した議案と各議員の賛否

## 12月定例会会議

○：賛成 ×：反対 -：赤堀議員は議長のため採決に入っていません。

件名	賛成 反対	議決結果	浅川	内原	大石	陶山	寺村	山口	北山	西田	森中	福村	森川	北森	西口	福岡	宮崎	桃井	山下	市川	赤堀	上田	百上	中岡
			友和	篤	亮子	美佐	京子	康子	太加視	方計	秀哲	教親	徹	徹	和成	正康	栄樹	弘子	典子	岳人	久美	宗久	真奈	久徳
市長提出議案 一人ひとりが輝く伊賀市奨学金支給条例の制定	20 : 1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定 (いがまちスポーツセンター)	16 : 5	可決	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	-	○	○	○	
<b>全員賛成で可決（同意を含む）した議案</b> (※ 1の採決は百上議員、※ 2の採決は森川議員に関係のある議案であるため、除外しています。(地方自治法第 117 条))																								
市長提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年度伊賀市一般会計補正予算(第6号)</li> <li>令和6年度伊賀市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)</li> <li>令和6年度伊賀市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)</li> <li>令和6年度伊賀市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)</li> <li>令和6年度伊賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)</li> <li>令和6年度伊賀市病院事業会計補正予算(第2号)</li> <li>令和6年度伊賀市水道事業会計補正予算(第1号)</li> <li>令和6年度伊賀市下水道事業会計補正予算(第1号)</li> <li>刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定</li> <li>伊賀市任期付職員の採用等に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市職員の給与に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市短時間勤務会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市体育施設条例の一部改正</li> <li>伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正</li> <li>伊賀市営住宅管理条例の一部改正</li> <li>伊賀市用品購入基金の設置及び管理に関する条例の廃止</li> <li>伊賀市川上地区施設管理基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止</li> <li>財産の無償貸付け</li> <li>指定管理者の指定 (史跡芭蕉翁生家、上野運動公園野球場ほか19施設、小田地区市民センター、花之木地区市民センター、※1長田地区市民センター、新居地区市民センター、諏訪地区市民センター、府中地区市民センター、友生地区市民センター、神戸地区市民センター、古山地区市民センター、ゆめが丘地区市民センター、きじが台地区市民センター、西柘植地区市民センター、※2河合地区市民センター、博要地区市民センター、高尾地区市民センター、桐ヶ丘地区市民センター、上野北放課後児童クラブ、三訪放課後児童クラブ、西柘植放課後児童クラブ、赤井家住宅)</li> <li>教育委員会委員の任命(内藤 扶基氏)</li> <li>公平委員会委員の選任(百田 光礼氏)</li> <li>島ヶ原財産区管理委員の選任 (島井 美紀子氏、稲増 靖宏氏、森林 昇氏、福永 利行氏、川下 裕史氏、増岡 義博氏、井村 俊行氏)</li> <li>大山田財産区管理委員の選任 (川端 清氏、中川 保和氏、竹島 保成氏、成瀬 義之氏、中瀬 義次氏、藤森 哲氏、林 尚樹氏)</li> <li>令和6年度伊賀市一般会計補正予算(第7号)</li> </ul>																							
議員提出議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別委員会の設置</li> <li>伊賀市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正</li> </ul>																							

# 議会を傍聴してみませんか

議会は、事前申し込み不要で、どなたでも傍聴できます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴してください。



聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の2日前(土日祝除く)までに市議会事務局に申し出てください。

(対象となる会議：一般質問)

議場傍聴席に「FM補聴システム」を設置しています。

※本会議・決算常任委員会・予算常任委員会の模様は、午前10時からケーブルテレビで生中継しています。  
(再放送は午後7時から)

# 市政を問う

## 一般質問

一般質問は、12月6日、9日、10日の3日間で、18人の議員が市政に対して質問をしました。その主なものを掲載しています。  
二次元コードからは、各議員の一般質問の動画（YouTube）をご覧ください。

ももい ひろこ  
**桃井 弘子** 議員

### 質問項目

- 市長の政治的スタンス



### 問 市長の考える95%の継続と5%の改革とは

記者会見で「市政について95%は継続し、5%の中で改革していく事が大事」と言った内容をお尋ねします。

### 答 私自身の基本理念・基本姿勢を示したものです

### 問 担当部署に問う。市長権限で産廃をストップする事は可能か

報告会の案内に、産廃最終処分場計画を食い止めるためには、市長権限を使いこなすことが大切とあるが、文言通り市長権限で産廃をストップする事は可能ですか。

### 答 難しいと思います

許可については三重県になり、市長権限による可否は難しいと思います。

### 問 市長権限の根拠は

市長選挙に際して、各地区で行われた報告会の案内に記載されている、市長権限の根拠をお尋ねします。

### 答 水道水源保護条例等です

### 問 合意形成が肝要となる認識でいいか

県の条例や規則、要綱と伊賀市の要綱を照らし合わせてみると、地元自治会等の合意形成の部分がとても肝要となる、としか見えてこないが、間違いはないですか。

### 答 おっしゃる通りです

### 問 一括保管の防災備品は分散配備を

令和6年発生した能登半島地震のような大災害に備え、市が一括保管している、生理用品、赤ちゃん用オムツ、介護用オムツを、地域の防災倉庫に分散配備すべきではないでしょうか。

### 答 分散配備を検討します

市としては「三重県備蓄・調達基本方針」に基づき、発災後1～2日分を備蓄しています。しかし、ご指摘の防災備品は、集中備蓄していますので、市民の皆さんに安心していただくため分散備蓄も検討してまいります。

### 問 授乳室に搾乳シンボルマークの運用を

搾乳をしたい方が、授乳室でためらわずに搾乳ができるよう、公共施設の授乳室や市内の商業施設に搾乳シンボルマークの運用と啓発を行ってはいかがでしょうか。

### 答 環境を整え啓発していきます

子育て支援センター、本庁等で授乳室のある場所については、搾乳シンボルマークを運用し、市内の企業にも啓発を行ってまいりたいと考えております。

搾乳できます



やまぐち やすこ  
**山口 康子** 議員

### 質問項目

- 防災倉庫
- 子どもを育てる環境



やました のりこ  
**山下 典子** 議員

### 質問項目

- 手話言語条例の制定
- 産科医療機関の確保
- 伊賀市立上野総合市民病院
- 伊賀市ゼロカーボンシティ宣言の継承



### 問 産科医療機関の確保は

令和7年4月から伊賀地域で分娩を取り扱うのは1病院となりますが近年の出生数から考えて十分ですか。

### 答 何とか維持できると考えています

令和5年度の伊賀地域産科医療機関の分娩数から見ると、何とか維持できると考えています。今後は市内唯一の産科医療機関との情報共有、三重県や名張市とも連携し、体制の確保に努めます。

### 問 上野総合市民病院の経営状況は

新型コロナウイルス感染症が5類になり様々な国庫補助金廃止等の影響もあり病院の経営が難しくなっていると聞きますが、

上野総合市民病院の現状は。

### 答 大変厳しい経営状況です

令和5年度の決算では6年ぶりに約4千万円の赤字です。

### 問 ゼロカーボンシティとなるための取り組みは

2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするために産学官民が連携すべきでは。

### 答 全力で取り組みます

市民、事業者に加え大学等研究機関の知見の活用や企業との連携も視野に入れカーボンニュートラルの取り組みをします。

☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

# 一般質問

うえだ のりひさ  
**上田 宗久** 議員

## 質問項目

- 伊賀市政の「人口減少が進むこれから」



## 問 産業振興の担い手不足に対する支援策は

本市の生産年齢人口は10数年先2万人減少する試算がありますが支援策はありますか。

## 答 伊賀市の商工業の発展につなげます

移住者を増やし、多様な人の働く場の創出や新たな経済循環を生む事業者の新陳代謝と更なる成長を促進し発展につなげます。

## 問 本市の財政基盤強化策をお尋ねします

「103万円の壁」見直しによる伊賀市の地方交付税などの減収は、23.4億円と試

算されています。さらに中期財政見通しの一般会計収支では令和7年度からの5年間で累積90億円の赤字となっています。

今後20年間にわたる忍苦回廊予算63億円を含め今後の資材・人件費の高騰などインフレの状況下での資金繰りはさらに厳しくなります。

今後の財政基盤強化策についてお尋ねします。

## 答 行財政改革などにより持続可能な財政運営を行います

長期的視点を踏まえた事業費の平準化や公債費の縮減、事業の選択と集中、公共施設最適化計画の実行などを通して財政基盤を整えます。

## 問 青山保健センターのプールの今後の方針を教えてください

## 答 現在サウンディング調査を行っています

令和6年3月22日、請願「青山保健センター運動施設の資産を行政財産として保有してプールを含む運動施設の継続について」が全会一致で採択された事を鑑み、センターの運動施設機能が民間による貸付・譲渡による運営が可能であるか等を検討するためサウンディング調査を調査会社に委託しています。

## 問 方針が定まるまで暫定的に再開する事は可能ですか

水深1m5cmのプールは伊賀で1つしかなく、車イスが入れるスロープも特殊です。

水の機能を充分発揮する事で膝や腰、関節への負担も軽減され、全身運動が出来るプールです。暫定的に再開は可能ですか。

## 答 老朽化により修繕は難しいです

設備の老朽化により必要な部品がなく安全安心に運営する事が難しい状況です。

サウンディング調査の報告を待ち検討していきたいです。

すやま みさ  
**陶山 美佐** 議員

## 質問項目

- 青山保健センターのプールの今後の方針



うち原 あつし  
**内原 篤** 議員

## 質問項目

- 伊賀市のリチウム蓄電池処理方法
- 行政バスA I オンデマンド走行



## 問 危険性を伴うリチウムイオン電池の処分方法は

家電製品に内蔵されているリチウムイオン電池は、発火、破裂の危険性がありますが、伊賀市ではどのように処分をすればいいですか。

## 答 家電製品から取り外さず回収ボックスへ

リチウムイオン電池の内蔵された小型家電製品に関しては、電池を取り外さずにそのまま、市役所及び一部を除く支所、又は各地区の市民センター、さくらリサイクルセンターに設置してある回収ボックスへの処分となり、また、製品から外した電池は危険なため地域のゴミとは一緒にせず、速

やかにさくらリサイクルセンターの窓口へご持参ください。

また、今後は、市民の皆様からリチウムイオン電池の危険性を知らせていただくため、SNSを含む様々なツールを用いて、繰り返し啓発を行って火災事故防止に取り組んでまいります。



# 一般質問

あさかわ ともかず  
**浅川 友和** 議員

## 質問項目

- 妊産婦が利用しやすい子育て支援窓口の提案
- 迷わない空き家対策と市の方向性の確認



**問** 「(仮)子育てコンシェルジュ」に相談できる窓口の開設を

相談できる窓口を一元化していただき、ここに電話をすればあらゆる子育てに伴走し、相談に乗っていただける、もしくは状況にあった事業の提案をしていただける窓口の開設を望みます。

**答** 子育て家庭支援課「22-9609」にご相談を

どこに相談すれば良いのかがわかりにくい現状を変え、より周知を徹底させることで多くの妊産婦からの相談をお受けして、個別のニーズに応じた様々な支援を総合的に行ってまいります。

**問** 空き家の把握状況の統一化を

伊賀市の先進的な空き家対策を確立するうえで、各自治協、統一した仕様・様式で管理するのが望ましいと考えますが、いかがでしょうか。

**答** 各地域の空き家を把握するための基準や仕様・書式をお示いたします

行政と地域が継続的に協力して取り組む、空き家対策のモデルを研究していきたいと考えております。

**問** 人権啓発に対する取り組みは

「差別をなくす強調月間」のありようや宅建業者対象の実態調査の扱いをどうしていきますか。

**答** 検証・分析し推進します

学校との連携等も含め、ていねいに検証し、次年度も支所単位での「市民のつどい」の開催を基本とします。

宅建業者対象の調査は回収率を高め、結果分析後は研修や啓発に活かします。

**問** 「地域計画」策定の現状は

各地域での「協議の場」のありようと見通しは。

**答** 趣旨の周知と協議の推進を支援します

10年先の地域農業や農村社会について、非農家も含め多様な立場からの協議を大切に、年度末までに対応していきます。

**問** 高校生を対象にした通学支援の充実を

主に高校生に的を絞った通学費支援、路線や時刻の修正等を検討してください。

**答** 子ども・子育て施策として進めます

支所単位で開催している地域公共交通活性化再生協議会地域部会等を通じて、ニーズを把握し、実現に向け検討いたします。

にしだ みちかず  
**西田 方計** 議員

## 質問項目

- 人権啓発の取り組み
- 「地域計画」策定の取り組み
- 交通政策



てらむら きょうこ  
**寺村 京子** 議員

## 質問項目

- 伊賀市における特に0, 1, 2歳児の保育の現状と今後の見通し
- 旧上野ふれあいプラザ再開発の進捗



**問** 3歳未満の保育園私的待機児童が128名もいます

子供が保育園に入れず仕事復帰ができないという方が多数いる状況に、現在どのように対応していますか。

**答** 一時預かり事業やファミリーサポート事業を利用いただいています

近年0歳保育のニーズの高まりに保育園の定員拡充が追いついていない状況です。特に上野市街地区に私的待機児童が集中しており、現状は公立保育園での受入の増加、一時預かり事業やファミリーサポート事業を利用いただくことで対応しています。

**問** 保育所(園) 民営化計画の見直しの影響は

私的待機児童対策は子育て世代にとつて喫緊の課題。市長が表明された保育所(園) 民営化計画の見直しによって対策が遅れないか心配です。

**答** 保育を重点施策として「忍者、芭蕉、子育て」と言われる伊賀市を目指します(市長)

待機児童解消など、保育・幼児教育環境のV字回復を目指し、重点施策として財源・人材を投入します。

# 一般質問

きたやま たかし  
**北山 太加視** 議員

## 質問項目

- 伊賀市の障がい者雇用
- 地域計画の策定状況
- 子ども食堂の支援



**問** 伊賀市の障がい者雇用の状況と職員の身分、合理的配慮の取り組みは進んでいますか

4月からの法定雇用率見直しで、市は要件を満たしていますか。また、行政の障壁解消は進んでいますか。

**答** 退職により市長部局で未達成となった職員1名を現在募集中です

現在の地方公共団体の法定雇用率は2.8%、令和8年7月から3.0%に引き上げられます。今後、正規職員と障がいの特性に応じやすい会計年度任用職員で雇用を進め、働きやすい環境づくりに努めます。

合理的配慮では、障がい福祉課などに音声で文字にして表示する透明字幕表示ディ

スプレイを設けています。

**問** 子ども食堂等に対する政府備蓄米の無償交付の制度を周知されていますか

この制度は精米120kgまで、送料も無料と充実してきましたが、周知の状況は。

**答** 各種情報は社会福祉協議会等を通じて提供されています

市内では12か所の地域食堂の運営を確認しています。引き続きこうした情報の迅速な収集と提供に努めてまいります。

**問** 公共施設最適化計画について今後の方針は

公共施設の統廃合を見直す場合、地域での機能や必要性、財源を含め検討する必要がありますが、どのように考えていますか。

**答** 施設利用者や地域の意見を聞きながら取組案をつくり上げていきます

公共施設は、所在する地域だけでなく市全体を俯瞰して、そのあり方を将来世代のニーズ等も考慮し、機能や役割をどのように配置・整備するかを考えていく必要があります。

平成27年に公共施設最適化計画を策定しその取組みを進めてきましたが、市民

からの意見が反映されにくかったことなど、住民自治を育んでいくという視点が不足していたことが大きな課題であったと受け止め、今後は施設利用者や地域の方の意見を聴きながら、共に取組案をつくり上げていきたいと考えています。

対話を通じた市民参画による取り組みを進めていくことで、より良い施設づくり、地域づくり、住民自治の強化へとつなげていきたいと考えています。

いちかわ がくと  
**市川 岳人** 議員

## 質問項目

- 所信表明「公共の再生」
- 所信表明「子どもが育つ、大人が育つ」



**問** 今後、保育所はどう変わりますか

たまたき保育所の統廃合を見直し、これまで通りの公営で運営されるとのことですが、対象となられている方や地域の方々は混乱されていませんか。統合に向けて進められてきたにもかかわらず、なぜ方向転換をするのでしょうか。

また、過去に玉滝地域と行政でたまたき保育所跡地に市民センターを移転させる覚書が交わされていますがどう考えていますか。

**答** 公設公営の方が優位性が高いと考えています

少子化が進み人材確保が困難になっていく伊賀の状況を鑑みると、公設公営の方が優位性が高いと判断しました。

また、玉滝地区市民センターの新築を求める声があるのも承知をしています。同時に玉滝地域まちづくり協議会の会長からもたまたき保育所の存続を求める声をいただいています。さらに、覚書も20年経って違う検討をされていると聞いていますので、保育所の問題と市民センターの問題は、少し趣が違のかなと思っています。

もりかわ とおる  
**森川 徹** 議員

## 質問項目

- 市長が代わってからの伊賀市の展望 ~今後、変更される事と継承される事~



☆一般質問☆ 本文は、質問議員が執筆し、質問議員の責任において掲載しています。

# 一般質問

ももがみ まな  
**百上 真奈** 議員

## 質問項目

- 「公共の再生」
- 市民の医療を受ける権利を守るために
- 行政による自衛隊への個人情報提供



## 問 18歳まで医療費無料化の実施は

市長が公約にされた18歳までの医療費の窓口無料化に向け、どのようにすすめますか。

## 答 早期実現に向け調整を図ります

県費拡充の動向も注視しつつ、早期に実施できるよう財源の確保など調整を図ってまいります。

## 問 自衛隊への個人情報提供についての見解は

伊賀市が、18歳と22歳の市民の氏名・住所を宛名シールにして、本人の同意なく自衛隊に提供することは認められない行為だと考えますが、市長の見解を伺います。

## 答 今後は閲覧に変えます

地方自治体は、住民の個人情報を保護する責務を負っており、本人の同意が無ければ個人情報の提供は認められないものです。

一方、住民基本台帳法は、閲覧までしか認めていません。

今後は、シール提供を改めて閲覧という方法で運用することとします。

今後のあり方については、行政法の専門家の意見を伺いながらしっかりと考えてまいります。

## 問 市民とのつながりを、どう結び直しますか

市長は一貫して「市長と市民のつながりを結び直す」と訴えています。どう実現しますか。

## 答 市長自ら出向く広報広聴を実践します

行政が市民と十分な合意を形成せず物事を進めてきたため、お互いが疎遠となってしまいました。今後は市長自らが出向き、自治協・自治会を含む多様な市民と意見交換します。現場で活躍する人たちの声を直接聴き、政策に磨きをかけます。

## 問 総合計画、防災を「参加と協働」の場に

新しい総合計画策定、高齢者・障がい者の個別避難計画作りを手始めに、行政・地域・市民と一緒に課題に取り組み、協働の輪を広げましょう。

## 答 若者・女性の意見反映と地域力向上を目指します

若い女性の転出という地方の共通課題を解決するため転出者の意見を聴いたり、子どもや若者の意見をワークショップで集めたりして、総合計画に反映します。

個別避難計画策定は地域力を高める取り組みとして、しっかり進めます。

もりなか ひであき  
**森中 秀哲** 議員

## 質問項目

- どう進める？「参加と協働」のまちづくり



おおいし りょうこ  
**大石 亮子** 議員

## 質問項目

- 保育所の民営化・統廃合
- 自然保育
- 「すべての子どもたちが安心して大人になれる社会」に向けた政策展開



## 問 保育所の運営費・整備費の財源は

民営化計画において、保育所の運営費・整備費は「私立は国・県の補助金があるが、公立は全額市負担」と説明されたため、市民に誤解を与えたのではないですか。

## 答 公立の場合は一般財源として普通交付税など一定の財源措置があります

計画の概要版に地方交付税措置の記載がなく、保育所運営の財源の面で誤解を招くことになったことは真摯に受け止めます。

財政というのはあると言えばあるし、ないと言えない、そういうものです。

保育・幼児教育の充実を重点施策に位置付けて財源を確保していきます。(市長)

## 問 自然保育に取り組む考えは

子どもたちの生きる力を育み、里山保全、地域活性化にもつながる、自然保育が全国で広がっています。

市としての考えはありますか。

## 答 積極的に取り入れて、推進していきます

まずは県内の取り組みを研究し、できるだけ早く周辺環境を活かした自然保育を特色にすることを考えていきます。

# 一般質問

きたもり とおる  
**北森 徹** 議員

## 質問項目

- 市長の「市民の声を大切に」との所信表明



## 問 18歳成人式で失望

前市長は、民法改正に伴い成人式を18歳に変更されました。20歳で成人式をしたいと署名された方々の声を聞かずに決まったことに失望していますが、市長の考えはいかがですか。

## 答 行政に何を言っても変わらないと諦めに繋がったと思います

当時、皆さんが頑張ったにも関わらず、聞く耳を持たずに軽くあしらった事は大きな間違いであったと思います。

## 問 トップの独断は同じでは

当事者を含め、関係者の声を聞かず、ないがしろにして、プロセスを踏まずに、トップ主導・トップ判断で18歳成人式が決められました。そして、また同じように、トップの独断で20歳の集いに戻すことは混乱を招くのではないですか。

## 答 当事者の皆さんの負担にならないよう速やかに決断しました

今後も、丁寧に声を聞き、間違ったことは速やかに正し、反省すべきところは反省し、今回のことも教訓に物事を進めていきます。

## 問 名神名阪連絡道路やリニア中央新幹線について市長の見解は

名神名阪連絡道路やリニア中央新幹線の早期実現は、伊賀市内外に大きな経済効果をもたらし、持続可能な地域の活性化につながると考えます。

## 答 両整備促進期成同盟会の中で、副会長として活動します（市長）

## 問 病児保育利用料の無償化を導入しては

働いている子育て世帯にとって、子どもの急病に対応していただける病児保育は大変有難い事業です。無償化により企業誘致のPRにもつながり、子育て世帯を応援する施策になると考えます。

## 答 受益者負担は、必要と考えます

当事業自体が子育て世帯の働きやすい環境づくりの一環と考え、PRに努めていきます。

## 問 投票所のあり方などの進捗状況は

早期に市内99ある投票所のあり方の再議論や移動期日前投票所の導入を考える時期と考えます。

## 答 様々な観点から検討します

投票所については、各地域内での議論を再開し、移動期日前投票所は、投票所の再編と併せ検討します。

にしぐち かずしげ  
**西口 和成** 議員

## 質問項目

- 市長が考える伊賀市の将来像
- 市長選挙・市議選挙の総括



みやざき えいき  
**宮崎 栄樹** 議員

## 質問項目

- 「まち」と「むら」が力を合わせて、ともに輝く伊賀市を
- 持続可能な上下水道事業に向けて
- 阿波地域の産業廃棄物最終処分場建設計画に対する市長の姿勢は



## 問 阿波地域の産廃処分場建設の阻止を

阿波地域の安定型産業廃棄物最終処分場の建設計画に対する市長の思いをうかがいます。

## 答 市長の権限を使って行動していきます

水道水源保護審議会に多面的な意見を反映するような委員を追加する検討や、市役所内で対策チームを設置することに取り組んでいきます。

## 問 不当労働行為に対する対応は

上下水道事業管理者が労働組合の役員選挙に介入したとされる行為が、三重県労働委員会から不当労働行為と認められました。

市長に今後の対応をうかがいます。

## 答 厳正な処分を検討します

すべての働く人が安心して働ける労働環境をつくっていきます。

## 問 合併浄化槽の補助金交付エリア拡大を

店舗を対象とする合併処理浄化槽設置補助金の交付エリアを、中心市街地区域内だけでなく、市内全域に拡大することについて見解をうかがいます。

## 答 拡大していきます

一極集中ではない多核連携型の都市像と一致するため、実施する方向で調整を図ります。

命をはぐくみ、命を守る伊賀市へ

## 「病院・医療等のあり方特別委員会」始動

12月20日の本会議において、伊賀市議会に「病院・医療等のあり方特別委員会」を設置する議員発議が、全会一致で可決されました。市議会に特別委員会が設置されるのは、7年ぶりのことです。

少子化が想定を上回るペースで進行し、子どもを産み育てやすい環境の整備が求められる中、伊賀市・名張市においては、令和6年末までは3箇所あった分娩できる産科病院が令和7年4月には1箇所のみとなります。

また、二次救急医療体制の今後の維持、医師・看護師ほか医療従事者の人材確保、地域医療、健康増進など、人口減少がますます進む時代にあっても、市民が安心して暮らせる持続可能な医療体制を維持するにはさまざまな課題があります。

伊賀市議会では、行政だけでなく議会としても「病院・医療等のあり方特別委員会」を設置し、これらの課題をどう解決していくべきか、調査研究を進めていきます。



### 病院・医療等のあり方特別委員会

委員長 市川 岳人 副委員長 桃井 弘子

委員 山口 康子 森中 秀哲 西口 和成 山下 典子  
百上 真奈

## 議会活性化推進会議 発足

12月20日の議員全員協議会において、議会活性化推進会議が発足しました。

議会活性化のため、下記の検討を行っていきます。

- ・ 決算常任委員会分科会の検証と見直し
- ・ 議会活動において、介護・育児や有事の際などにもオンラインの活用を含め、多角的に参画できる議会運営の実現
- ・ 議員定数の検討



### 議会活性化推進会議

議長 赤堀 久実 副議長 福村 教親

委員 内原 篤 寺村 京子 北山太加視 北森 徹  
宮崎 栄樹 桃井 弘子



**総務常任委員会** 12月13日

### 地域公共交通の課題について（バス・タクシー）

総務常任委員会 YouTube ▶



#### 主な調査内容

##### ①「路線バスの現状分析」では

バス路線の利用者数は、平成 29 年度の約 60 万人からコロナの影響で約 37 万人まで減少し、現在は横ばい状態です。廃止代替バスも平成 29 年度には約 14 万人を数えたが、令和 5 年度には約 6 万人まで減少しています。行政バス利用者も回復傾向はあるものの約 6 万人です。また、奈良県山添村のコミュニティバス（村民バス）について、治田、予野地区を通り、岡波総合病院、上野総合市民病院を經由して上野市駅まで乗り入れるバス路線のルートの一部変更して、10 月 1 日から新ルートの沿道住民も乗車できるよう利便性の向上を図ったとの説明を受けました。

##### ②「実証運行中の島ヶ原ぐるり号の現状分析」では

令和 8 年度からの本格運行に向けて取り組み中で、実証運行開始から 1 年経過した令和 6 年 10 月までの利用状況は、1 日当たり約 11 人です。利便性向上のためアンケート調査を行い、運行終点を上野市駅まで延伸したことや、他の交通機関との接続改善を図っていることを確認しました。

##### ③「日本型ライドシェアの検討」では

伊賀市の課題として、市内で既存タクシー及び雨天時・夜間のタクシー不足の解消や、交通空白地の移動手段確保などの課題があります。

このため、交通空白地は、公共ライドシェアとして自家用車の使用が可能になること、日本版ライドシェアは夜間などのタクシー不足解消に役立つことなどを確認しました。

以上のとおり、当局から情報提供を受け、今後も引き続き調査、研究を続けます。



▲島ヶ原ぐるり号

**産業建設常任委員会** 12月11日

### 空き家対策について

産業建設常任委員会 YouTube ▶



#### 令和 5 年 12 月提言書「空き家を利活用してにぎわいを」の進捗確認

令和 5 年に法改正があった空き家対策について、令和 5 年度に実施した所管事務調査に基づき、令和 5 年 12 月 21 日提出の提言書の内容について、当局の対応状況の進捗を空き家対策室及び上下水道部と確認、意見交換を行いました。

#### 主な進捗について

##### ■空き家の実態調査及び移住定住を促進する体制の整備について

最も空き家の実態を把握されているのは各住民自治協議会であるため、行政と住民自治協議会が、同じ基準で調査し、情報共有できる体制の整備を進めていきます。特に、住民自治協議会が空き家を調査する際の統一した基準や、フォーマットに関して、速やかに作成し、共有するように進めていきます。

##### ■空き家相談に対する窓口の一本化に向けた体制整備及び相談体制の充実について

管理活用支援法人を 2 団体指定。行政では対応できない部分も含めた空き家の対応に苦慮している所有者の総合的な相談に対応できるほか、現地調査の委託などによって対応力が向上。今後も協力し、空き家対策に取り組んでいきます。

##### ■空き家の利活用に対する補助金制度の充実について

中心市街地域内の店舗に対する合併処理浄化槽の補助金制度を、店舗を対象に、全域に拡大する方向で検討を進めます。

空き家対策については当委員会にて継続調査し、よりよい活用促進の方法を検討していきます。

# 令和6年度の政務活動費を報告します

**交付の趣旨** 政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員が行う調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な活動に要する経費に対して交付されるものです。

**交付対象と額** 請求のあった議員に、半年分一括して交付されます。(月額2万円)

**報告** 交付を受けた議員は、使途基準に従って支出し、領収書等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出します。

**返還** 残額がある場合は、返還します。

**収支報告書写しの閲覧** 場所：議会図書室（市役所本庁舎5階）  
時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日、年末年始を除く。）

**ホームページでの公開** 収支報告書は、市議会ホームページでも公開しています。

伊賀市議会  
ホームページ▶



## 令和6年度 政務活動費 議員別収支報告書 (令和6年4月1日～令和6年10月15日)

令和6年10月15日に伊賀市議会が解散したため (単位：円)

議員氏名	交付額	交付対象額	残額	報告内訳					報告額合計
				調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	
				視察等の調査研究に関する経費	研修会等に参加する経費	活動、市政について住民に報告するために要する経費	活動に必要な資料を作成する経費	図書や資料等を購入する経費	
北山太加視	240,000	32,760	207,240	0	0	0	0	32,760	32,760
釜井 敏行	240,000	16,500	223,500	0	0	0	0	16,500	16,500
西條エリ子	240,000	7,832	232,168	0	0	0	0	7,832	7,832
西田 方計	240,000	140,000	100,000	0	0	0	0	148,580	148,580
濱瀬 達雄	120,000	0	120,000	0	0	0	0	0	0
増田 雄	240,000	140,000	100,000	0	0	132,000	0	11,322	143,322
森中 秀哲	240,000	35,472	204,528	0	0	0	0	35,472	35,472
川上 善幸	240,000	140,000	100,000	67,880	81,660	0	0	0	149,540
北森 徹	240,000	140,000	100,000	68,320	81,660	0	0	0	149,980
西口 和成	240,000	103,075	136,925	68,320	0	0	0	34,755	103,075
福岡 正康	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
宮崎 栄樹	240,000	50,552	189,448	0	15,000	0	0	35,552	50,552
桃井 弘子	240,000	139,548	100,452	0	0	132,000	0	7,548	139,548
山下 典子	240,000	63,852	176,148	0	0	0	0	63,852	63,852
市川 岳人	240,000	13,584	226,416	0	0	0	0	13,584	13,584
赤堀 久実	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
田中 覚	240,000	140,000	100,000	0	0	132,000	9,819	5,554	147,373
上田 宗久	240,000	132,000	108,000	0	0	132,000	0	0	132,000
中谷 一彦	240,000	0	240,000	0	0	0	0	0	0
百上 真奈	240,000	6,000	234,000	0	0	0	0	6,000	6,000
合計	4,680,000	1,301,175	3,378,825	204,520	178,320	528,000	9,819	419,311	1,339,970

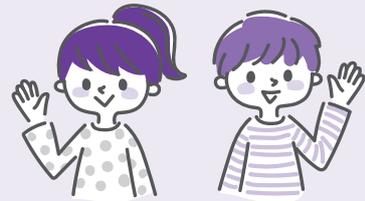
※福村教親議員、近森正利議員、中岡久徳議員は、交付申請がないため掲載していません。

※「広聴費」、「会議費」、「人件費」、「事務所費」については、全議員支出がなかったため、掲載していません。

※濱瀬達雄議員は、令和6年4月1日～令和6年6月27日。

# ようこそ伊賀市議会へ！

市内小学校の児童のみなさんが、議場見学に来てくれました！



中瀬小学校  
10月21日



友生小学校  
10月22日



成和西小学校  
10月29日



三訪小学校  
11月12日

## 令和7年2月定例月会議日程（予定）

会議期間29日間

日	月	火	水	木	金	土
2/23	24	25 本会議 (議案上程等)	26	27	28	3/1
2	3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 各常任委員会 (予算・決算を除く)	8
9	10 各常任委員会 (予算・決算を除く)	11 各常任委員会 (予算・決算を除く)	12	13 予算常任委員会	14	15
16	17 予算常任委員会	18 予算常任委員会	19	20	21	22
23	24	25 本会議 (採決等)	26	27	28	29

※本会議と予算常任委員会は、午前10時から始まります。その他の各常任委員会は、本会議初日に決定します。

※日程は、変更になる場合があります。

## ご感想をお寄せください

議会だよりや議会のテレビ放送、YouTube をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

郵送 〒518-8501

伊賀市議会事務局

「議会だより感想」宛

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

※伊賀市議会だよりの点字版・録音版を希望される場合は、上記までお問い合わせください。



伊賀市議会ホームページ

伊賀市議会

検索

## 編集後記

令和6年11月10日に伊賀市長・市議会議員同時選挙が行われました。

それにより、22名の新議員でのスタートをきりました。

「伊賀市議会だより」は、広報広聴委員会の担当であり、非常に短期間での取材・編集を経て発行となりました。「伝える」ではなく「伝わる」ことが大切と考え、多くの市民の方々に読まれる・理解される紙面づくりを motto に進めてまいりました。私たちの思いが皆さまに伝われば幸いです。（福村 教親）

次号は令和7年5月1日です

発行：伊賀市議会 編集：伊賀市議会広報広聴委員会

# 人と地域がつながって イキイキ 活動紹介

指定管理者制度を導入した住民自治協議会を紹介するシリーズ第7回。

今回は、市役所本庁も地域に含んでいる久米住民自治協議会を訪ねました。

## Q：地域の紹介をしてください。

A：市街地南西部に隣接し、南部と西部は木津川流域に位置します。名阪国道や国道422号線が通り、三重県伊賀庁舎、伊賀市役所、伊賀警察署、上野総合市民病院などの主要な公的機関が地域内にあります。住宅や農村が混在している地域です。

地域にはたくさん企業や事業所がありますが、自治協議会活動にたいへん協力的で助かっています。

## Q：自治協議会活動の中で、女性参画を推進しているとのことですが。

A：地域内は5つの自治会があり、各自治会から推薦で選出されたメンバーと公募のメンバーがそれぞれの部会で活動しています。市が「男女共同参画」を進める中、ここ10年、各部会の役員には必ず女性に入っています。

結果、男性とは異なる視点から女性の意見が話し合いに反映され、会議が活性化していると思っています。



幹線道路の美化活動



おいしくおいもが焼けたかな？

## Q：特色ある活動を教えてください。

A：環境・産業部会が中心になって年4回、幹線道路の美化活動をしています。令和5年には、国土交通省から表彰もいただきました。

また、市民センターの近隣には久米小学校があり、日頃から学校と文化・教育部会が協力して、野菜の栽培をしています。

特に、健康・福祉部会が行っているひだまり支援の活動（ひだまりくらぶ&キッチン）は、学校の先生の協力もあって充実しています。

## Q：ひだまりくらぶ&キッチンのことを教えてください。

A：令和2年から始めました。子どもたちへの学習支援や子ども食堂などが主な活動です。「キラッと輝け！地域応援補助金」を活用し、物品類を買いそろえることができました。

先日は、地域内の福祉事業所をお借りして、クリスマス会を催しました。

付近に住む子どもたちがたくさん集まって、木工教室やしめ縄づくり、そして昼食をみんなで楽しみました。その後、サンタさんが参加者にプレゼントを配ってくれました。



サンタと一緒にハイチーズ！

## Q：指定管理の運用はいかがですか。

A：地域内部の合意形成のため1年かけて議論を深めました。

指定管理料や地域包括交付金の取扱い、労務管理などには課題もありますが、自治会活動と自治協議会活動をすみ分けて、これからも和気あいあいと楽しく地域づくりを進めていきたいです。